



ガラスのピラミッド完成～訪れた人みんなを温かく包み込むHIDAMARI

平成13年2月から建設してきたガラスのピラミッドが完成しました。これは、イサム・ノグチが、「子供たちが遊びながら芸術に触れることのできる公園」の核となる施設として構想したもので、愛称は「HIDAMARI」。モエレ沼公園の拠点施設として、市民の方々に広く活用してもらえる機能を備えており、休憩場所や管理施設としての役割も併せ持っています。

ピラミッドは、一辺が約51メートルの四角すいを基本とした設計で、頂点は高さ約32メートル。約1,100枚のガラスを使用し、内部は、その高さを生かして3層で構成されています。1階には、開放的なアトリウム（ガラスで囲まれた屋内施設）のほか、展示などに活用できる多目的スペース、レストランなどがあり、2階にはワークショップスペース、3階にはイサム・ノグチを紹介するギャラリーなどが設けられています。

自然エネルギーを有効利用した空調システム

併設された貯蔵庫に、1,580トンの雪を蓄え、盛夏時の冷房に活用しています。これにより、地球温暖化の一番の原因である二酸化炭素の排出削減と、冷房費の節減が図られています。

開館時間

夏季(4月29日～11月3日)は午前9時～午後6時(第1月曜は閉館)。
冬季(11月4日～4月28日)は午前9時～午後5時(月曜は閉館)。
※今年の8月は無休、9月1日(月)、2日(火)は、施設整備のため休館します。

詳細 モエレ沼公園管理事務所 ☎790-1231

20世紀を代表する彫刻家

イサム・ノグチ

1904年アメリカ・ロサンゼルス生まれ。2歳から13歳まで日本で過ごした後、アメリカやフランスなどで彫刻を学ぶ。世界各地で公園や庭園、家具設計などを手掛け、幅広い分野で活躍する。モエレ沼公園の基本設計を行った直後の1988年12月、ニューヨークにて永眠。

〈イサム・ノグチ展開催中〉

初期の肖像彫刻や、晩年期のブロンズ作品など、札幌初公開の40点以上を展示しています。ぜひ会場にお越しください。

日時 8月31日(日)までの午前9時30分～午後6時(入場は5時30分まで)。

会場 ガラスのピラミッド。

入場料 一般800円、高校・大学生500円、小中学生200円。
20人以上の団体は一般700円、高校・大学生400円。

詳細 モエレ沼公園管理事務所 ☎790-1231



大地が彫刻されたことを体感できる公園に

昭和六十三年三月、本市事業への参画を求められたイサム・ノグチは、初めて札幌を訪れました。いくつかの候補地の視察後、唯一興味を示したのが、このモエレ沼公園。彼は、彫刻の概念を庭園や公園にまで広げ、子供のための公園を造るという構想を長い間温めていたことから、すぐに具体的な提案を行ったほどでした。基本理念は、芸術に豊かな感情の育成、自然に豊かな自然の体感、遊

びに全身を動かし、親子が遊び、文化に親しむ空間の創造という三つ。これを基に、イサム・ノグチは、公園とその周囲全体を彫刻の対象としてとらえ、大地をデザインするという独自の発想で表現しています。平成十年七月、主要施設の半数以上が完成したのを機にオープン式を開催。市民はもちろん市外からもたくさんの人々が訪れ、「全体を一つの彫刻とみなした公園」を体感しています。こうした中、昨年十月には、日本産業デザイン振興会が主催するグッドデザイン賞で、公園として初の大賞を受賞しました。